



ぶどうの枝

2024年
夏号

霊的食物の食べ方の提案

千葉キリスト教会 牧師 小濱 守宏

クリスチャンにとって祈りは、霊的呼吸と称され、聖書は霊的糧と言われている。

テモテへの第2の手紙3章16節から17節には、聖書について次のように説明されています。

「聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です。こうして、神に仕える人は、どのような善い業をも行うことができるように、十分に整えられるのです。」とあります。

また、マタイによる福音書6章11節に「わたしたちに必要な糧を今日与えてください。」とあります。

ある聖書注解書には、「必要な糧」とは、「肉体を支える食物だけでなく、魂を養って永遠の命に致させる霊的食物も求めなさい」と書かれていました。

では、み言葉を食するとは具体的にどういう事なののでしょうか。霊的な食物をどのように食するのでしょうか？ヤコブ書に一つの答えがあると思います。

ヤコブ書1章22節「御言葉を行う人になりなさい。自分を欺いて、聞くだけで終わる者になってはいけません。」つまり、平たく申しますと実行しなさいという事です。別の言い方をすれば、日常生活でみ言葉を用いなさいという事ではないでしょうか。

み言葉の食べ方の一つの例です。フィリピの信徒への手紙4章6節から7節のみ言葉を食したいと思います。

「どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。」

フィリピの信徒への手紙は、執筆者のパウロが、「主はイエスである」と主張したために囚われ人となり、自由を奪われていた時に書かれた手紙です。

苦難な状況に置かれていたにも関わらずパウロは、「何事につけ感謝を込めて祈りなさい」と語りました。どんな状況においても思い煩いから感謝に変えて祈りなさいと伝えたのです。

私達も、喜べない状況に対して、見方や受け取り方を変えて感謝の思いで問題と向き合う時、み言葉が霊的糧となるのです。

私達は生きている限り思い煩います。コリント人の信徒への第2の手紙11章28節に、この様に書かれています。「このほかにもまだあるが、その上に、日々わたしに迫るやっかい事、あらゆる教会についての心配事があります。」とあります。

苦難や痛み、思い悩みは必ず人生には付きものです。「何事につけ感謝を込めて祈りと願いをささげて」霊的糧を頂きましょう。。



2024年3月30日バプテスマ式が行われ、仲間達朗さんと水越優祈さんのお二人が、小濱牧師の司式により、バプテスマをお受けになりました。

おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

ここにお二人の「証」を掲載させていただきます。



お祝いの花束を手に
ご挨拶をされる
お二人

神様を、讃え敬い感謝します

千葉キリスト教会 仲間 達朗

恐る恐るバプテスマを受けました。司式をして下さった小濱牧師に感謝します。

壮大な宇宙の天体の中で生きている私達は、神様が創造主である事を本能的に認識する事が出来ます。神様やイエス様の事をこれからもっと勉強し聖書を学びたいと思います。今はその途上でありますので、熟練し模範である皆様に申し上げる事はありません。どうか末永く私の信仰生活を見守って下さいます様、お願い申し上げます。

これから先、どのような挫折が待っているかも知れません。現在未だあやふやな自分がいるのも確かです。不透明な未来に向かって歩んでおります。失敗してもイエス・キリストの元に立ち返ることが出来ればと思います。再臨の日にイエス様を見上げパラダイスに入れてもらえるといいなと想像しております。

神様を、継続的に、讃え敬い感謝したいと思います。

又、いつの日か、皆様と、お話しできれば幸いです。

バプテスマを受けこれからも、次の聖句を心に掲げて参りたいと思います。

◇ 「十戒」（出エジプト記20章2～17節）を理解し守ること。

◇ 「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」（マタイによる福音書22章37節）

◇ 「隣人を自分のように愛しなさい」（マタイによる福音書22章39節）

神様と共に

千葉キリスト教会 水越 優祈

僕は山梨にある桃花台学園という、高等支援学校に通う高校2年生です。農業コースを選択し、週2日は畑で野菜や果物を育てています。その時間が僕は一番楽しいです。

僕の事を少し話します。生まれた時は1636gと小さかったのですが、今は身長が180cm位あります。走ったり泳いだりする事は得意ですが、勉強は苦手です。

そんな僕は中学生の頃、漢字を何回書いても覚えられない、頑張っても意味がない、何のために生きているの?、死んでしまいたいと思い、暗い部屋に引きこもってしまいました。落ち込んだ僕を、母や母の伯

母がいつもお祈りし、励ましてくれました。

神様はありのままの優祈を認め愛して下さっている、世界にたった一人しかいない大切な宝物なんだよと…。僕はその言葉で胸が暖くなり、気持ちが楽になりました。

その時から、僕を助けてくれた神様の事をもっと知りたいと思うようになり、今年3月30日に千葉教会でバプテスマを受けました。イエス様のような優しい人になれますようにと願い、お祈りしています。

これからも僕の傍にいて見守っていて下さい、神様。



お二人の
バプテスマを
お祝いし
皆で
記念撮影です

「春のボウリング大会」により青年たちの交流を深めました

千葉キリスト教会 児童・青年伝道部（青年担当） 吉田 翔

桜の開花が例年より遅れて、今か今かと待ち遠しい3月30日（土）の夕べに、ラウンドワンスタジアム習志野を会場に、近隣教会の青年たちと「春のボウリング大会」を開催しました。

この企画を立ち上げるきっかけとなった理由を紹介します。今から1年前の2023年春に当教会で開かれた千葉・茨城地区のリバイバル集会で学生伝道師を担当されている柏教会員の浅沼祐輝さんとの出会いがスタートです。

浅沼さんは広島三育学院出身の大学生です。浅沼さんは千葉県内のSDA教会を盛り上げたいという想いがあり、青年たちとの交流を深めるために「千葉連合青年会」を立ち上げることになりました。

まずは各教会の青年会の担当者が繋がるためにLINEグループを作成して、各教会の青年活動の紹介や、イベントの案内を情報交換のツールとして活用することとなりました。

やがてコロナ禍が5類に移行して、教会活動の制限が緩和されました。「千葉連合青年会」で交流を開きたいという話になりました。しかし、みなさん教会内外の活動で忙しいご様子で、開催時期や教会の行事と被らないタイミングを探っていました。ここは誰かが手を挙げて、先に進めなければならぬと感じていました。そこで千葉教会の行動的な青年担当者が、千葉連合青年会のLINEでの発案や柏教会での打ち合わせを経て、「春のボウリング大会」を開くこととなりました。

各教会の拠点が離れているため、ボウリング大会の呼びかけや集計はインターネット上のツールを活用しました。浅沼さんの力をお借りしてGoogleフォームを作成して、スムーズに参加者の集計を進めること

ができました。

今回のボウリング大会は千葉教会・他教会を含めて20名の方が参加されました。他教会・年代の近い方が交わりやすいようなチーム編成にして5チームに分けてスコアを競いました。参加者の中には若かりし頃にボウリングに熱中した経験者がおられたり、今日が初めてボウリングで遊ぶという初心者の方がおられました。それぞれが白熱してプレーを楽しんでおられました。ストライクを取ったらハイタッチ★惜しいプレーは励まし合い、笑顔があふれる時間を過ごしました。

ボウリング大会の後は会場の近くにあるハワイアンカフェで食事をしました。それぞれの教会活動や特色を語り合い、楽しいひとときを過ごしました。高校生たちのテーブルでは恋バナがあり、興味深かったようです！（^^）

この企画を行うにあたり、青年会をはじめとして皆さまの祈りと支え、ご理解をいただき誠にありがとうございました。一度きりの企画にせず、これからも「横のつながり」を拓けるために垣根を超えた他教会との交流を深めていきたいと願っています。



「春のボウリング大会」を終え、
笑顔で集う参加者の皆様

菜食料理教室 10年の歩み

千葉キリスト教会 菜食料理教室 熊岡 百合子

菜食料理教室開始(2012年)から100回を目前にしてコロナのため3年程教室が中断しました。その間千葉教会の菜食料理のレシピ本が完成したことは、喜びでした。今、二ヶ月に一度という形で再開しています…

本来三育食品を使うことが望ましいと思う中で、自分自身がボランティアで参加していますので、全部を三育食品に頼るが難しく多種多様の食材を利用し、その中で三育食品も必ず一品組入れて調理しました。

主食は、ご飯物が中心でパンや麺なども取り入れてみました。ご飯は季節感を持たせ、見た目を楽しませる工夫をしてきました。

当時1人暮らしの老人宅に、菜食弁当を届け喜んでいただきました。常に5品用意して、卵、豆腐、厚揚げなどを使うようにしました。炒め物、煮物、蒸し物、和物、サラダと皆さんと楽しみながら調理しました。

私の田舎で食べている精進料理を思い出

しながら、献立を考え、会員の皆さんの助言やヒントをいただきました。

また3~4ヶ月に一度蕎麦うちをして下さる方がいて、うちたて、茹でたての蕎麦を頂きました。蕎麦うちをして下さる泉水さん、浅川さんには、心より感謝申し上げます。

今年からオープン料理を献立にくわえ、グラタンやピザなどの洋風料理を増やして行く予定です。又、三育フーズ食品の材料を調理して下さる方があたえられましたので、更に献立の巾を広げて行けると考えています。

やっと一ヶ月おきですが菜食料理教室を再開できました。会員の皆様がチームワークで笑いが溢れるなか、私も共に調理する喜びを味わっています。

笑顔で作る料理は美味しいと私は信じています。今後の展望として、数年後に料理本が出版されることを望みながら力の続くかぎり、料理教室に参加して行きたいと思っています。



2024年5月13日(月)開催の菜食料理教室で、喜びと笑顔で調理を終え、調理したお料理を食べる前に、参加された皆さんで記念写真を撮りました。

祈り

千葉キリスト教会 コワイヤー 酒井 紀子

第13回チャーチコンサートは2024年5月12日（日）午後1時より千葉協会にて開催されました。

おだやかな春の日、コロナの感染予防を十分に取りながらの開催でした。今回もYouTube配信があり、自宅にて視聴して下さいました多くの皆さまがいらっしゃいました。

今回のコンサートで歌われた全8曲は、どれも「祈り」をテーマにした賛美歌です。それぞれの曲が、祈りの様々な状況や心の内を歌っています。

扉を閉めて一人静かに、傷つき傷んだ弱い心を、神様の愛のみ手に触れさせて下さいと祈る歌や、朝夕祈りの園をイエス様と共に歩き、「あなたは永遠に私のもの」と語りかけて下さる御声を聞くという美しい歌、また絶望と苦しみの底から、私を起こ

し立たせて下さいという魂の叫びの歌、悲しみと絶望に満ちたこの世界に、光と愛と平和を届ける器として、私を用いて下さいと祈る歌などが歌われました。最後にイエス様が教えて下さった「主の祈り」を英語で歌いました。

コワイヤーメンバー30人の信仰に裏付けられた祈りの歌の数々は会堂を豊かに満たし、魂に触れて、沢山の皆さまが涙して聴いて下さいました。神様の世界はあまりにも壮大で美しく、小さく弱い私達が祈りの歌を通してその世界を垣間見ることができたのは、大きな祝福でした。

祈りと賛美の中で神様と出会ったメンバー全員の顔は、感謝と喜びで輝いていました。



チャーチ・コンサート終了後の
ヘブンズ・コワイヤーの皆さん

聖書について（その4）

千葉キリスト教会 長老 渡邊 邦男

私たちキリスト教の聖典である聖書は、旧約聖書と新約聖書が存在することを最初の寄稿で書かせていただきました。今回は旧約聖書の変遷を歴史的背景から見てみたいと思います。

旧約聖書の始まりである「創世記」に続いて「出エジプト記」「レビ記」「民数記」「申命記」いわゆる「モーセ五書」ですが、これが文書として書かれ始めたのは紀元前5、4世紀ごろではないかと言われています。

出エジプトの出来事は紀元前13世紀ごろと考えられていますので、それまでは、聖典として、文書として存在していたものは無くいわゆる「口伝」と思われます。かなり正確に記憶された専門的に語る人達がいて、語り継がれてきたものと思われます。

キリスト教でいう旧約聖書はユダヤ教の聖書と同じものと思っていましたが、実は当時の伝統的ユダヤ教聖書と私たちの使っている旧約聖書とは微妙な違いがあります。大巾に違うのではなく、言語の違いや歴史的背景の中で双方が存在していたのです。

ヘブライ人がヘブライ語を話していたと思うのは当然なのですが、この聖書が文書として編纂され始めた紀元前5、4世紀頃のユダヤ人社会で一般的に使われていた言語は、イエス様も使っていたアラム語でした。当時のユダヤ教の聖書では、ヘブライ語と共に一部アラム語も使われていました（ダニエル書2：4～7：28など）。

ところが、ヘブライ語とアラム語で書かれたユダヤ教聖書が、アレキサンダー大王が使っていたギリシャ語圏で始まったギリシャ語への翻訳の過程で、今世界で使われているキリスト教の旧約聖書の全体が構成されたと言われています。

これが紀元前3世紀頃出て来た「七十人訳

聖書」と言われているものです。この時期には、どの文書が聖書に含まれるかが確定されておらず、「七十人訳聖書」には新しい文書が付け加えられました

つまり、この紀元前3世紀頃から紀元後1世紀末迄は、「伝統的ユダヤ教聖書」と、それに新しい文書が付け加えられた「七十人訳聖書」とが、混在していたのです。

一方、紀元後1世紀末に、ユダヤ教は、ラビ達によるヤムニア会議で、ユダヤ教の「聖書」は「ヘブライ語で書かれた39の文書で構成される」（伝統的ユダヤ教聖書が基本）と決め、「七十人訳聖書」とは若干ちがう「ユダヤ教聖書」となったのです。

このような歴史的背景の中で、紀元後1世紀末から2世紀にかけて、キリスト教が世界伝道へと進展していく中で、「七十人訳聖書」をベースとする「旧約聖書」が「新約聖書」と共に広がっていきます。

一方、宗教改革でルターは「伝統的ユダヤ教聖書」をドイツ語に翻訳します。ここに原点を持つプロテスタントの旧約聖書は、カソリックや正教の「七十人訳聖書」とは異なる、新しい文書が入らない39の文書なのです。「七十人訳聖書」で加えられた新しい文書が「旧約聖書続編」です。

ペトロは、伝統的ユダヤ教聖書を理解し、伝道ではギリシャ語旧約聖書を引用して使っていましたが、こう言っています。『何よりもまず心得てほしいのは、聖書の預言は何一つ、自分勝手に解釈すべきではないということです。なぜなら、預言は、決して人間の意志に基づいて語られたのではなく、人々が聖霊に導かれて神からの言葉を語ったものだからです』（ペトロの手紙 二 1章：20、21節）



コロナ、インフルエンザなどの感染状況を注視しています

◇ぶどうの枝2024年夏号は2023年冬号に続き年2回の発行ができました。コロナやインフルエンザなどの感染症の感染状況の推移を見ますと、1年前とほぼ同じ波を繰り返しており、今年も、夏休み、年末年始の増加が懸念されます。千葉教会では万全の感染予防対策を継続しつつ活動をしています。少しずつ再開される教会の活動にご参加頂きたいと思っております。

◇集会は、感染状況を注視しつつ、活動を再開しております。活動予定を、都度、千葉教会ホーム・ページにてご案内致しておりますのでご覧の上ご参加ください。ホーム・ページは下記URL（QRコード）からご覧頂けます。また、感染予防から実施しているYouTube同時配信（礼拝・チャーチコンサート等）は、ホームページに入り該当プログラムのURLをクリック下さい。

定期集会（開催場所：千葉キリスト教会 集会室、礼拝堂）

- ◇ **聖書セミナー**；対面とオンラインで行っています。
- * 日時：毎月、第一・第三水曜日。午前10時～11時30分。
- * テーマ：「イエスのみ名によって」を研究します。
- * 講師：千葉キリスト教会 牧師 小濱 守宏
- ◇ **菜食料理教室**；奇数月の第一月曜日に開催します。
- * 今回は2024年7月1日（月） 午前10時～13時。
- ◇ **チャレンジクッキング**；まだ定期開催はできませんが、開催の時は、千葉教会ホーム・ページにてご案内します。
- * 対象：子供の皆様（小学生以下は保護者の御同伴をお願いします。）
- ◇ **チャーチコンサート**；5月12日（日）の第13回チャーチ・コンサートは、2023年10月8日（日）、2023年12月24日のクリスマス・コンサートに続く開催でした。今後の開催については、都度、千葉教会ホーム・ページにてご案内します。
- * 今回は、12月22日（日）にクリスマス・コンサートを予定しております。開催時間は午後1時です。感染予防の観点から、YouTubeによる同時配信を予定しています。

**安息日学校（毎週土曜日）**

☆賛美礼拝：しばらく中止

☆聖書の学び：午前10:00～10:40

安息日礼拝（毎週土曜日）

☆千葉キリスト教会：午前11:00～12:00

☆シャローム若葉虹の家：午前9:30～10:10

祈祷会

☆毎週、火曜日夕午後6時及び水曜日朝午前8時30分から祈祷会をしております。

【編集後記】「ぶどうの枝」2024年夏号をお届けします。未だ、残念ながら年2回の発行です。教会活動が早くコロナ前に戻り、「ぶどうの枝」の季号発行の出来る日を待ち望みます。

SDA千葉キリスト教会

〒264-0028

千葉市若葉区桜木5丁目15番1号

旧法務局前通り:3、4階 千葉キリスト教会

1、2階 シャローム若葉

電話:043(231)3620

FAX:043(231)1634

Email:sda-chiba@rio.odn.ne.jp

ホームページ:

sda-chiba.org



★発行責任者:

小濱 守宏 牧師

★スタッフ:

酒井 闊 太田 博司

綿引 秀子